

令和6年度 第2回富士市建設産業活性化協議会

日時：令和7年2月10日（月）10時00分から

場所：富士市役所 消防庁舎3階 研修室

次 第

- 1 挨拶
- 2 事務局説明
 - ・各ワーキンググループの活動報告
 - ・（仮称）建設産業活性化計画の策定について
 - ・今後のスケジュール
- 3 意見交換
- 4 閉会

資料1	次第
資料2	出席者名簿
資料3	座席表
資料4	説明資料
参考資料	アンケート結果について ①工事提出書類のスリム化 ②工事検査の簡素化 ③情報共有システムについて



～ ふじしをつくる 未来をまもる ～

富士市建設産業活性化協議会



令和6年度 第2回富士市建設産業活性化協議会 令和7年2月10日(月)



1

令和6年度 第2回富士市建設産業活性化協議会

本日説明すること

1 各ワーキンググループの活動報告

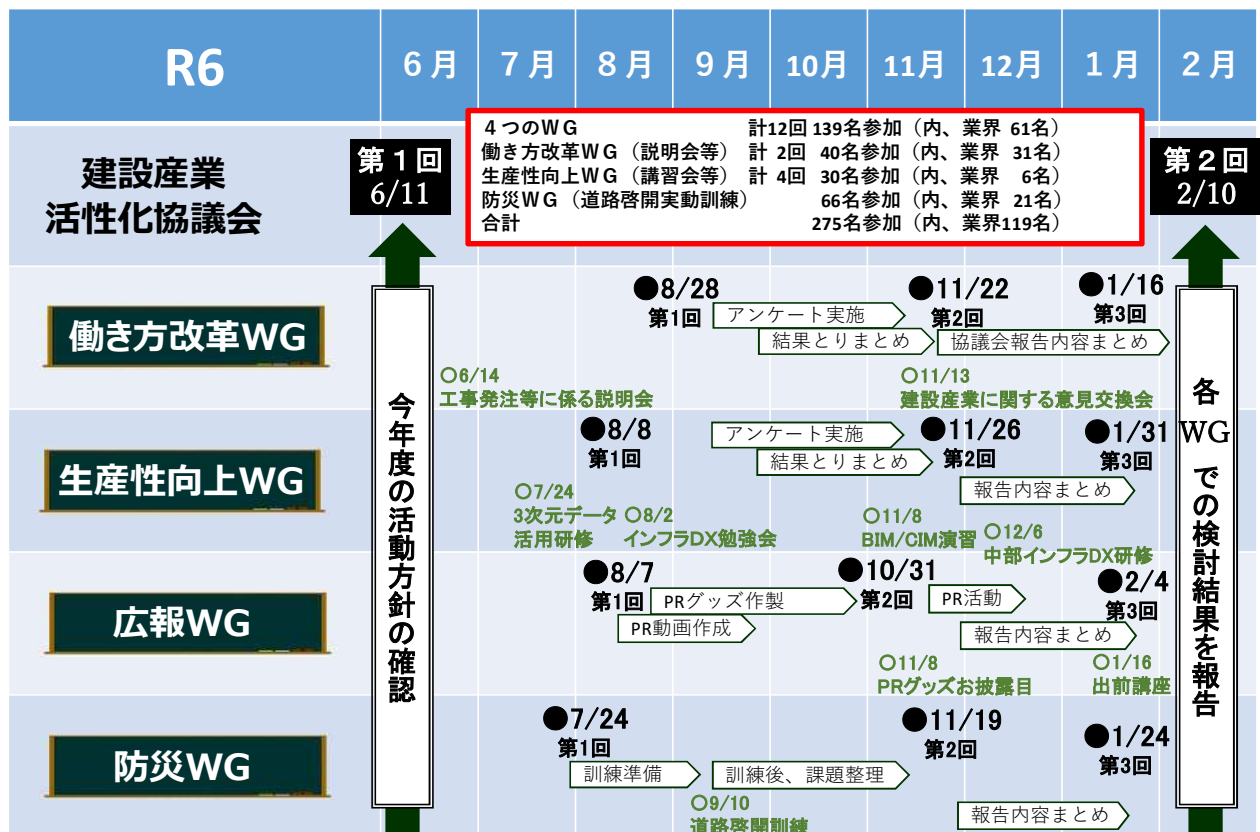
2 今後のスケジュール

(仮称) 建設産業活性化計画の策定について



2

1 各ワーキンググループの活動報告



1-1 働き方改革ワーキンググループの活動報告 まとめ

～今年度の活動内容～

- 6月14日（金）工事発注等に係る説明会⇒富士市建設業組合23名参加
- 8月28日（水）第1回ワーキング開催（工事提出書類のスリム化、工事検査の簡素化に関する現状把握方向の検討）
- 10～11月 アンケート実施（工事提出書類のスリム化、工事検査の簡素化）
- 11月13日（水）建設産業に関する意見交換会⇒富士市建設業組合、国職員、市幹部17名参加
- 11月22日（金）第2回ワーキング開催（アンケート結果の報告）
- 1月16日（木）第3回ワーキング開催（第2回協議会での報告内容の確認）

～今年度の活動報告まとめ～

- R6対象工事の週休2日制工事の発注率：100%
- R6平準化率（1月末現在）：0.76（R5：0.59）
- アンケートの実施
 - 【工事提出書類のスリム化】
[課題] 書類の簡略化の推進
 - 【工事検査の簡素化】
[課題] 効率的な検査の推進
- 各所属長からの訓示（ウィークリースタンスに対する意識改善・条件明示チェックリスト活用）
- 総合評価入札の評価項目及び選定方法の見直し（請負契約制度検討委員会）

～来年度の活動内容（案）～

- [対応] 小規模工事適用金額の変更（1,000万円未満⇒2,000万円未満）
- [対応] 検査方法の検討（室内での書類検査の推進や遠隔臨場など）
- 来庁機会の削減取組（電子契約の検討）
- 工事書類の理解を深めるための方法検討

請負契約制度検討委員会の報告

- ①総合評価入札の選定基準及び評価項目の見直し
 - ①-1 選定基準の見直し
 - 令和6年度まで 各発注課より1～2件選出（年間15件程度）
 - 令和7年度より 土木・上水道は5,000万円以上、舗装は2,500万円以上を原則、総合評価入札にて発注する。（年間30件程度）
 - ①-2 評価項目の見直し
 - 全項目の内容確認及び見直しを検討
 - ①-3 見直した項目（令和7年度より採用）
 - ・工事成績評定の対象金額を500万円以上→1,000万円以上に変更
 - ・配置する優良技術者の表彰対象年度を3年→5年に変更
 - ・舗装工事において、1級舗装管理技術者の資格を持っていると+1点を追加
 - ・建設キャリアアップシステムに登録していると+1点を追加
 - ①-4 組合から要望をもらったが見直しにいたらなかった項目
 - ・建設業組合からの要望書の回答として「配点は、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素を考慮し、価格及び品質が総合的に優れた契約を締結する総合評価方式の目的のもと、項目ごとのバランスを鑑み、国や県、他自治体の事例などを参考に行っております。」と回答しており、従前どおりの配点「1点」としました。

請負契約制度検討委員会の報告

- ②他の入札方式の検討（同施設内での給排水設備工事・空調設備工事の発注）
 - 令和6年度まで 受注機会を増やすため別々に発注
 - 令和7年度より 一括で発注できるように方針を変更
- ③指名競争入札金額の範囲の拡大
 - ・地方自治法234条により、原則130万円以上の工事は一般競争入札で行うこととされており、富士市では500万円未満の工事は指名競争入札としている。
 - 指名競争入札の範囲を拡大することは、地方自治法の原則に逆行することや地域によって工事発注件数や規模にバラツキがあることから公平性に欠けるため、従前どおりの方針としました。
- ④舗装工事の格付けについて
 - ・平成22年に舗装の格付けを廃止。現在の選定基準は平成26年度から。会社の規模ではなく資格保有者を重要視している。舗装工事の価格競争が激しいため、格付けに戻してほしいとの要望があるが、資格保有者を雇用していれば金額の大きい工事に参加できる業者が逆に参加できなくなることもあるため、従前どおりの方針としました。

1-2 生産性向上ワーキンググループの活動報告 まとめ

～今年度の活動内容～

- 7月24日（水）3次元データ活用研修（主催：静岡県）⇒富士市11名参加
- 8月 2日（金）インフラDX勉強会（主催：DX研究会（富士市議会有志の会））⇒富士市10名参加
- 8月28日（水）第1回ワーキング開催（情報共有システム、事業執行プロセスに関する意見交換）
- 10～11月 アンケート実施（情報共有システムの稼働率について）
- 11月 8日（金）BIM/CIM演習（主催：富士砂防事務所）⇒建設業組合6名、富士市8名参加
- 11月26日（火）第2回ワーキング開催（アンケート結果の報告）
- 12月 6日（金）中部インフラDX研修（主催：中部地方整備局）⇒富士市2名参加
- 1月31日（金）第3回ワーキング開催（第2回協議会での報告内容の確認）

～今年度の活動報告まとめ～

- 事業執行プロセスの検証
課題 現状システムの未活用
- 情報共有システム等アンケート調査の実施
課題 業務委託に関する要領がない
課題 発注者主導の取組が必要
課題 情報共有システムの認知不足
- ICT機器の利用に限定した工事の研究
課題 ICT活用工事の推進
- 各種勉強会の参加（BIM/CIM演習等）
課題 BIM/CIM対応のPC環境がない

～来年度の活動内容（案）～

- 情報共有システム等の導入拡大
対応 遠隔臨場の要領作成及び試行
- 業務委託における情報共有システムの活用、要領作成及び試行
対応 情報共有システム活用の対象工事（2,000万以上）の設定（段階的に金額引下げ予定）
- システムの認知度向上に向けた方法検討
対応 ICT機器の利用に限定した発注者指定型工事の試験発注（土工）
- BIM/CIM対応のPC環境整備検討
対応

1-3 広報ワーキンググループの活動報告 まとめ

～今年度の活動内容～

- 8月 7日（水） 第1回ワーキング開催（PRグッズ作製に関する意見交換）
- 9月～ PR動画配信（第1弾かぐや姫マンホール開けてみた）
- 10月31日（木） 第2回ワーキング開催（PRグッズ等の完成報告）
- 11月 8日（金） PRグッズお披露目（市長定例記者会見にて）
- 1月16日（木） 出前講座⇒鷹岡小学校（6年生90名）参加
- 2月 4日（火） 第3回ワーキング開催（第2回協議会での報告内容の確認）
- 2月～ PR動画配信（第2弾下水道マンホール開けてみた）

～今年度の活動報告まとめ～

- ポスター作製
- イベントへの出展（富士川橋100周年イベント、
（株）静ガス主催：みんなのサステナビリティ）
- クリアファイル作製
- シール作製
- 鷹岡小学校出前講座（6年生）の実施
- 市ウェブサイト上に協議会専用ページの作成
課題 建設業界の更なる参加

～来年度の活動内容（案）～

- PRグッズの更新
- 11月18日土木の日に合わせた2F市民課ホールでのポスター等の掲示
- イベントへの出展（年2回程度）
（キッズジョブ、ふじ防災等）
- 出前講座等の実施（年2回程度）
- PR動画の作製（年4回程度）
- ウェブページの更新
対応 建設業界への啓発活動

1-3 広報ワーキンググループの活動報告 まとめ

PRグッズお披露目

R5.11.8市長定例記者会見



クリアファイル

- 1,000枚作製
- 土木・水道・測量の各団体に配布
- イベント・出前講座にて配布



シール

- 丸形1,000枚、4種1シートを1,000枚作製
- 土木・水道・測量の各団体に配布
- イベント・出前講座にて配布
- 約200人の富士市技術職員ヘルメットに貼付



イベントへの出展

R6.11.23富士川橋100周年イベント
かりがねウォーク(富士川楽座)



R6.12.22 みんなのサステナビリティ(イオンタウン富士南)



1-3 広報ワーキンググループの活動報告 まとめ

ポスター

- A2版200枚(土木Version、水道Version)等を作製
- 土木・水道・測量の各団体に配布
- 庁舎や市保有施設等に掲示



教育プラザ



本庁舎2階渡り廊下



本庁舎1階西口エレベーター前



市役所内ファミリーマート



総合庁舎6階(上下水道部)



市民課待合スペース

1-3 広報ワーキンググループの活動報告 まとめ

ポスター

- 庁舎、市保有施設以外にも拡大中

タリーズ富士中央公園店



富士市建設業組合



富士川楽座4F展望ラウンジ



商工会議所



(株)藤島組



(株)アイワ



静岡国道事務所
デジタルサイネージ



(株)富士測量事務所



平和建設(株)



遠藤建設(株)



(株)三和工務店



1-4 防災ワーキンググループの活動報告 まとめ (案)

～今年度の活動内容～

- 7月24日(水) 第1回ワーキング開催(道路啓開、現実に即した体制に関する意見交換)
- 9月10日(火) 道路啓開訓練⇒富士市：建設総務課、道路維持課、道路整備課、河川課、水道維持課、下水道施設維持課、防災危機管理課、建築土地対策課、中央消防署古永分署
富士市建設業組合、富士市水道指定工事店協同組合 延べ66名参加
- 11月 1日(水) 第2回ワーキング開催(道路啓開訓練に関する報告、現実に即した体制及び通信途絶時の連絡体制に関する意見交換)
- 1月 アンケート実施(富士市建設業組合の実動可能人員調査)
- 1月24日(金) 第3回ワーキング開催(第2回協議会での報告内容の確認)
- 2月28日(金) 民間、国、県、市での道路啓開に関する意見交換会(予定)

～今年度の活動報告まとめ～

- 官民が連携した道路啓開訓練の実施
課題 地区等の防災訓練と重複
- 6ブロック中、4ブロック未実施
課題 道路占有者及び警察との連携
- 富士市建設業組合行動マニュアルの作成
課題 通信途絶時のまちづくりセンターの活用
- 実動可能人員等アンケート調査の実施
課題 実動可能人員の不足が懸念
- 市職員経歴表の作成
課題 被害調査の効率化

～来年度の活動内容(案)～

- 官民が連携した道路啓開訓練の継続実施
対応 大淵公園、平日に実施予定
- マニュアルに基づき、実効性を確認
対応 警察、電気、ガス業者等の参加も検討
- 現実に即した防災体制検討の継続
⇒協定内容、行動マニュアル説明会の実施
⇒民間、国、県、市での意見交換会の継続
⇒災害協定内容の見直し
- 各ブロック内の効率的な被害調査方法の検討
⇒土木職員の地区班配備案の検討

本日説明すること

1 各ワーキンググループの活動報告

2 今後のスケジュール (仮称) 建設産業活性化計画の策定について



13

2 今後のスケジュール (仮称) 建設産業活性化計画の策定について

～計画策定の必要性について～

- 協議会活動は本年度で2年目を迎え、現時点では、各WGで早急にできる取組から行っており、各課題に対する効果的な手法が見え始めてきている状況である。

計画を策定することにより⇒

- 各WGの取組に対する目標や検討スケジュールが明確になり、協議会活動の継続性を担保することができる。
- 各取組について、建設業界・行政間での情報共有及び共通認識の形成を図ることが出来る。

～計画（アクションプラン）の構成イメージ～

建設業界の現状

- 1.建設業界の役割
- 2.建設業界の課題

協議会の概要

- 1.協議会の目的
- 2.協議会の体制
- 3.協議会の取組
- 4.プランの概要

目指す姿

- 1.将来ビジョン
- 2.取組方針
- 3.取組体系

具体的な取組

- 1.働き方改革WG
⇒働き方改革推進
及び経営の安定化
- 2.生産性向上WG
⇒生産性の向上
- 3.広報WG
⇒担い手の確保
- 4.防災WG
⇒安全・安心の確保



14

2 今後のスケジュール（仮称）建設産業活性化計画の策定について

～計画（アクションプラン）の構成イメージ～

具体的な取組	取組項目	WGでの検討スケジュール	具体的な取組内容		
			決定内容	取組目標	スケジュール（短・中・長）
働き方改革WG ⇒働き方改革推進及び経営の安定化	・工事提出書類の更なるスリム化 ・工事検査の簡素化 など		・現在のワーキンググループの取組項目を集約し、検討スケジュールを盛り込んだ計画を策定 ・各団体の皆様と協議しながら進める ・新たな取組項目をその都度追加することにより、充実していくような柔軟な計画としたい ・担当が変わる際の引継ぎ資料としても活用することにより、継続性を担保する ・4つのワーキンググループの各リーダーや各団体事務局が集結し、それぞれの課題を共有し合うワーキンググループを開催予定		
生産性向上WG ⇒生産性の向上	・DXセミナーの開催 ・事業執行プロセスの検証、改善 など				
広報WG ⇒担い手の確保	・PRグッズの作製 ・出前講座等の実施 など				
防災WG ⇒安全・安心の確保	・道路啓開訓練の継続実施 ・現実に即した防災体制の検討 など				

15

2 今後のスケジュール

R7	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
建設産業活性化協議会			第1回 6月上旬								第2回 2月上旬	
働き方改革WG			各ワーキングメンバーの選出	今年度の活動方針の確認 各WGでの検討結果を報告 ●9月上旬 道路啓開訓練			各WGでの検討結果を報告			4つのワーキンググループの各リーダーや各団体事務局が集結し、それぞれの課題を共有し合うワーキンググループを開催予定		
生産性向上WG												
広報WG												
防災WG												
(仮) 建設産業活性化計画策定WG												

16